スターゼン

2027年3月期中間期
決算補足資料

スターゼン株式会社　証券コード：8043
2026年11月10日

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

1. 社長メッセージ

2027年3月期第２四半期は、事業環境の大きな変化に直面しながらも「中期経営計画2030」に掲げた施策を着実に実施し、売上高および各段階利益で「過去最高」の実績を達成いたしました。

特に、ハンバーグをはじめとする高付加価値商品群の実績が顕著に推移しております。
今後も、4月に子会社化した㈱オサベフーズの商品と当社グループの営業網とのシナジーを最大限に発揮し、収益基盤の強化と企業価値向上に取り組んでまいります。

川上事業では、11月6日に青森県内最大規模の和牛肥育農家である㈱田原ファームをグループ化しました。また、同じく青森県内にと畜加工施設を新設し、九州・東北2大拠点での和牛輸出体制を整備する計画です。

海外事業においては、和牛の生産・調達機能とシンガポール販売子会社を核とした販売基盤を融合し、成長著しい東南アジアをはじめとする市場への展開を強化してまいります。

生産から販売に至るグローバル サプライチェーンの強靭化を通じて、世界中のお客様のニーズに応え、持続的な企業価値の向上に邁進してまいります。



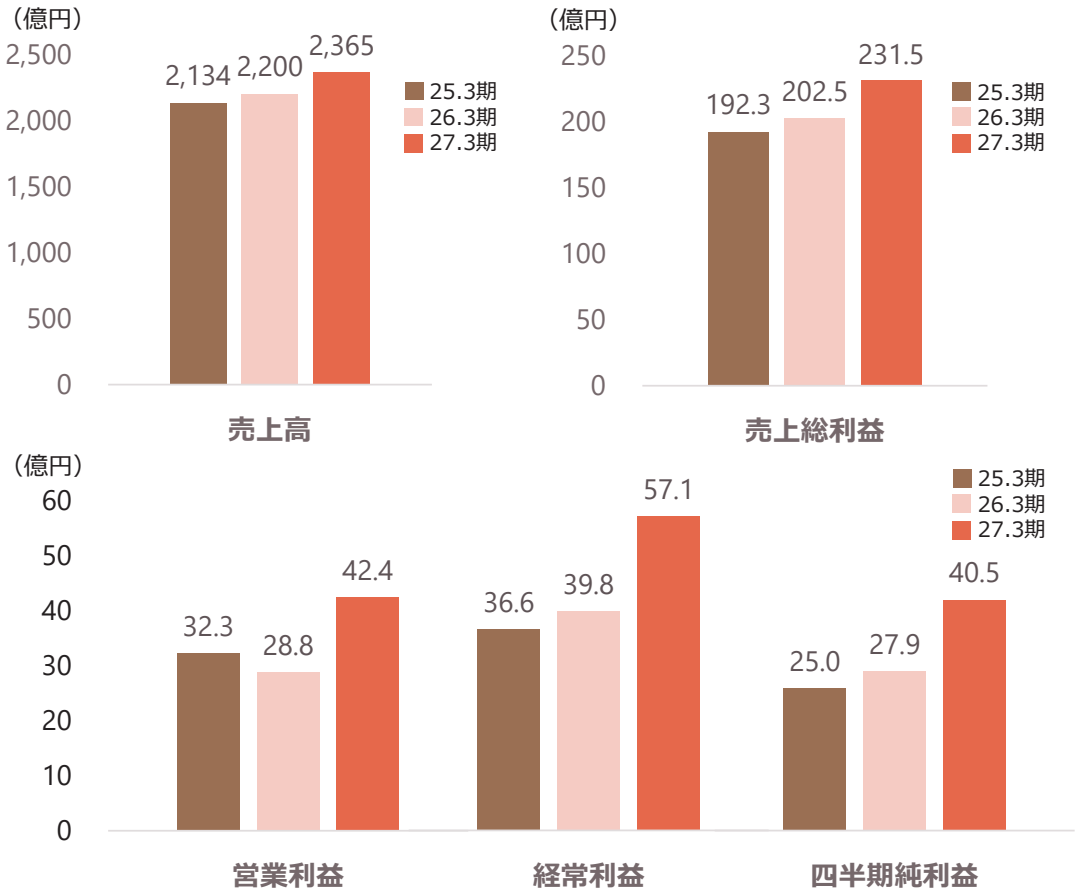
代表取締役社長　横田 和彦

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

2．業績ハイライト

（単位：億円）

	2026.3期 第2四半期	2027.3期 第2四半期	前年同期比
売上高	2,200.8	過去最高 2,365.7	107.5％
売上総利益	202.5	過去最高 231.5	114.3%
営業利益	28.8	過去最高 42.4	147.3%
経常利益	39.8	過去最高 57.1	143.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	27.9	過去最高 40.5	145.2%

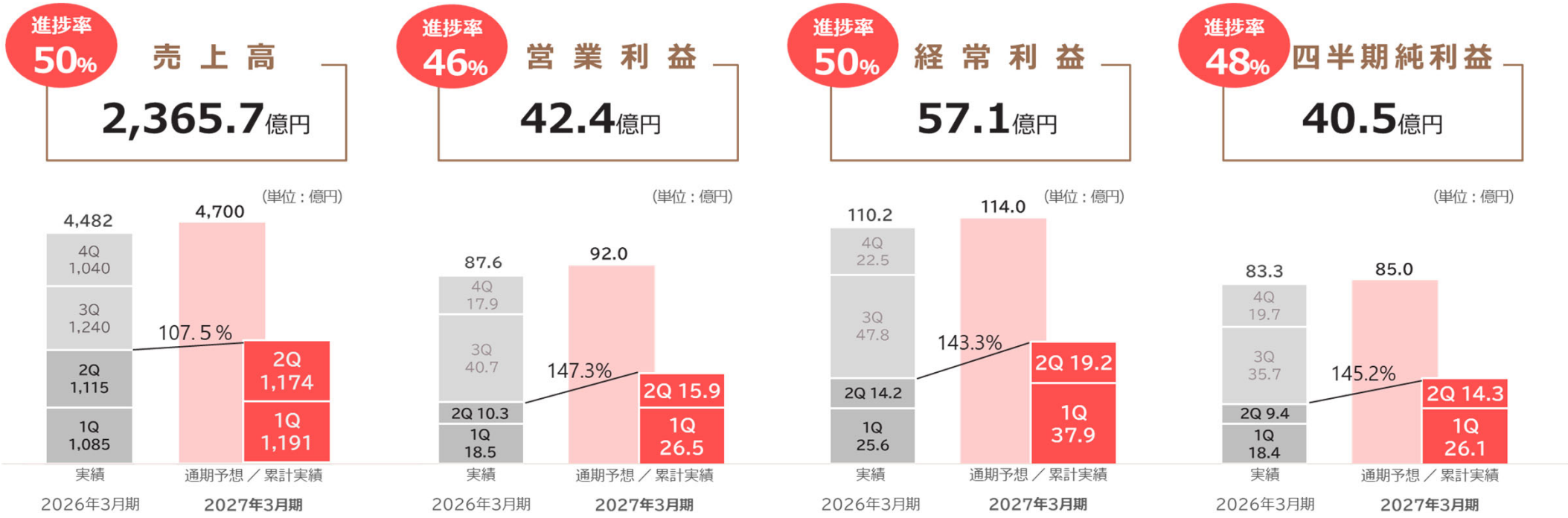


第1四半期に続き 第2四半期も売上高・各段階利益で過去最高の実績を計上

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

3. 通期予想に対する進捗率



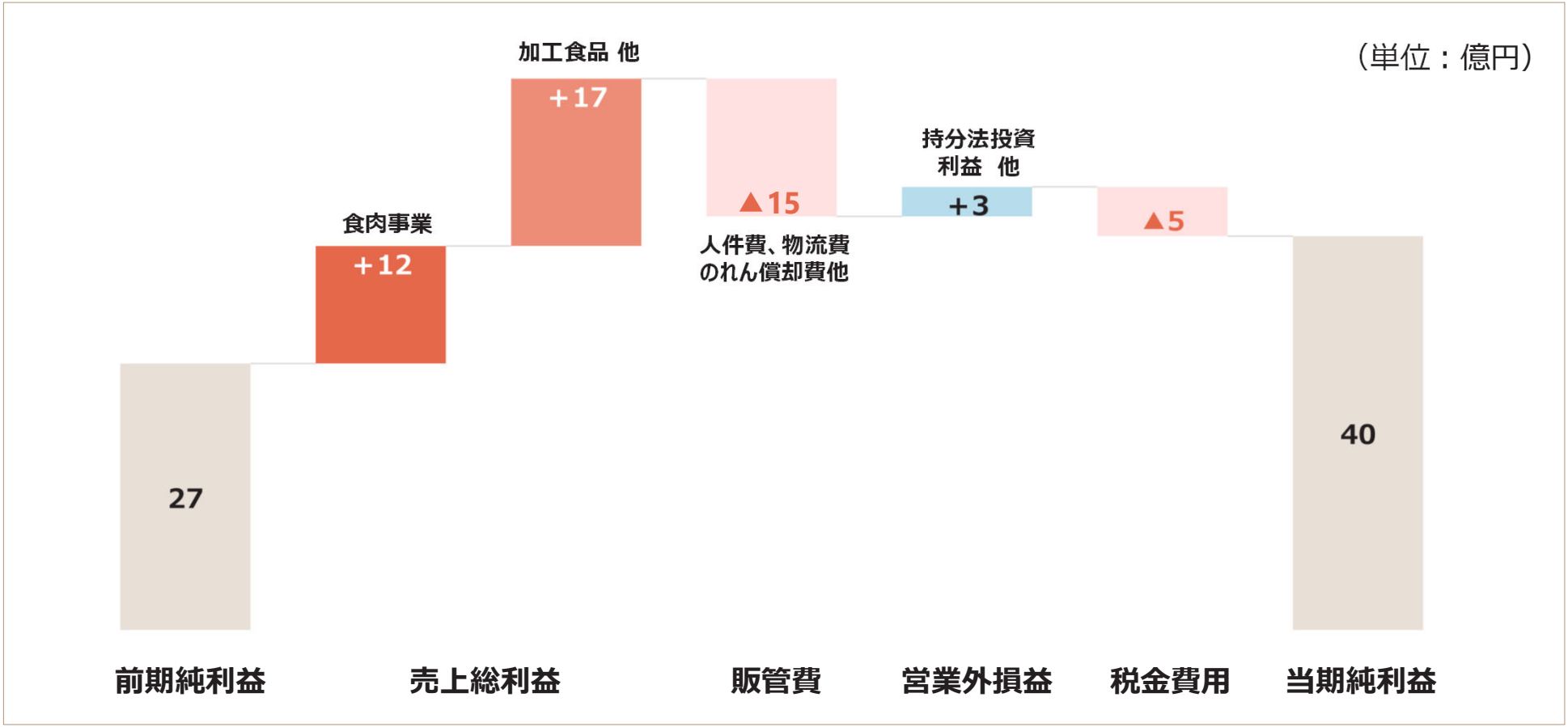
業績への寄与度が高い第3四半期を待たずして順調な進捗

※過去5年平均実績：売上高49.1%/営業利益40.2%/経常利益41.5%/四半期純利益38.8%

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

４．損益増減の概要



販管費増を上回る売上総利益を創出

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

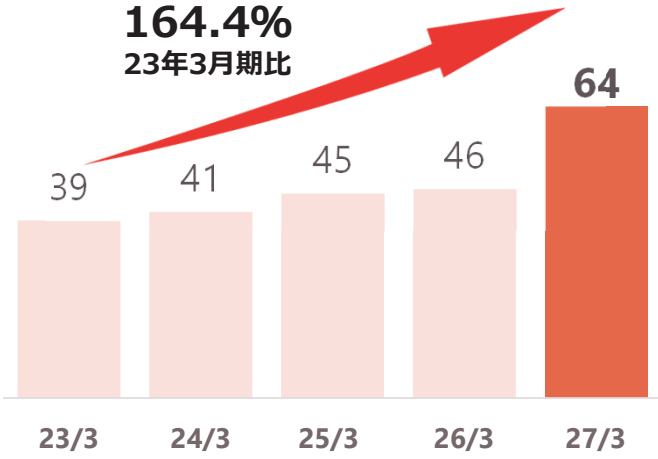
5．品目別業績（売上高･売上総利益）

（単位：億円）

		2026.3期 第2四半期	2027.3期 第2四半期	増減額	前年同期比
食肉	売上高	1,737	1,818	+81	104.7%
	売上総利益※2	146	158	+12	108.6%
加工食品※1	売上高	438	520	+82	118.8%
	売上総利益※2	46	64	+17	138.6%
その他	売上高	25	26	+0	102.9%
	売上総利益※2	10	9	▲0	91.1%
合計	売上高	2,200	2,365	+164	107.5%
	売上総利益	202	231	+29	114.3%

※1　加工食品は決算短信上の「加工食品」と「ハム･ソーセージ」の合算です。
※2　上記、品目別の売上総利益は社内管理上の算定値です。

加工食品 売上総利益推移



【増益要因】

オサベフーズの子会社化に加え
既存の**ハンバーグ**などの商品の需要が堅調

消費者の節約･時短ニーズを捉えた商品提供により 加工食品が大幅拡大

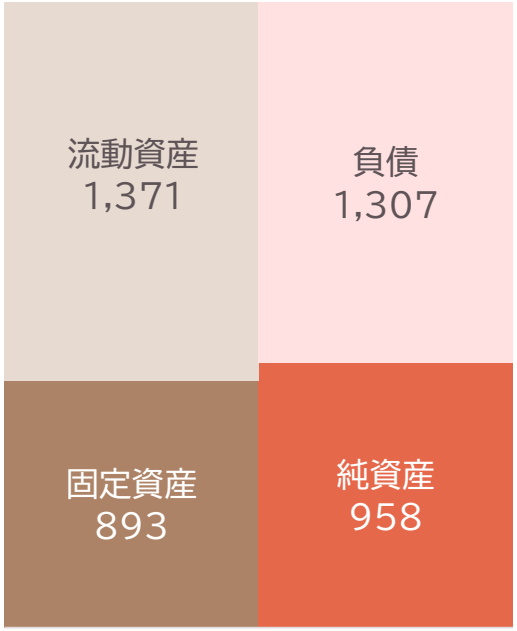
© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

6．財務状況

連結貸借対照表

（単位：億円）

27年3月期第2四半期　総資産
2,265（＋244）



（　）内は26年3月期期末との比較

自己資本比率	42.3%
D/Eレシオ	0.85倍

流動資産　＋117

主な内訳
- 受取手形および売掛金　▲28
- 棚卸資産および前渡金　＋136

固定資産　＋126

主な内訳
- 有形固定資産　＋84
- 無形固定資産　＋22
- 投資その他の資産　＋19

負債　＋243

主な内訳
- 買掛金　＋17
- 短期借入金　＋69
- 長期借入金　＋103
- 社債　＋50

純資産　＋0

主な内訳
- 当期純利益　＋40
- 支払配当金　▲24
- 自己株取得　▲15

成長投資の実行等によりB/Sは拡大するも 安定した財務規律を維持

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

7. トピックス（加工食品）

加工食品の需要堅調

食肉価格の高騰

消費の二極化

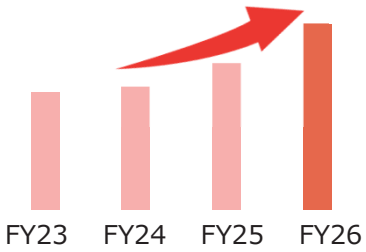
人手不足

上期の成果



手頃な価格
＆ 簡単調理
で主菜となる
ハンバーグが堅調

ハンバーグの売上
3年で34%増



引き続き
ハンバーグを中心
にオサベフーズとの
シナジー効果を発揮

㈱オサベフーズと目指すシナジー効果

スターゼン

販売力と調達力

- 全国約50ヵ所の**営業拠点**
- 全国の拠点とお客様を繋ぐ**物流網**
- 多種多様な**顧客基盤**
- 国内外に広がる強固な**調達網**

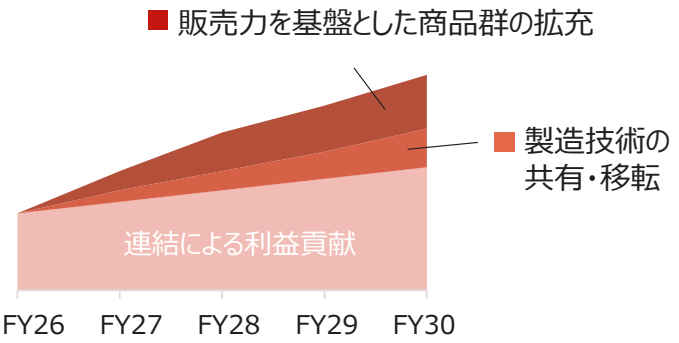
×

Osabe Foods

製造技術と商品力

- 顧客ニーズに応える高度な**製造技術**
- ハンバーグを軸とした**多彩な商品群**
- 低コスト製造による**競争力**

【シナジー効果の利益貢献イメージ図】



好調なハンバーグをベースに オサベフーズとのシナジー発揮で加工食品事業を拡大

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

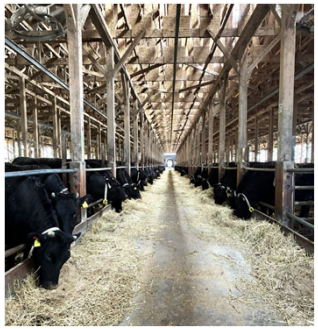
スターゼングループ

8. トピックス（和牛輸出）

㈱田原ファームのグループ化（2026年11月）

青森県内最大規模の
和牛肥育農家（3,500頭）

輸出ブランド「**AOMORI GOLD**」
の最大供給農家



グループ化の目的

- 国産和牛の**安定供給**
- 当社グループ農場との技術交流による更なる**品質向上**
- 生産から加工・販売までの**一貫体制**を強化
- 輸出向け商品の**品揃え拡充**

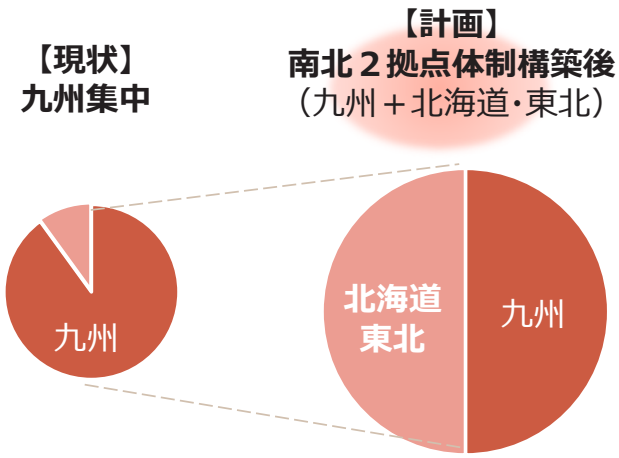


中期経営計画2030における位置づけ

【和牛輸出の流れ】

	生産・肥育	処理・加工	マーケティング	販売
中計施策	新たな調達基盤拡充	• 和牛輸出認定工場を増強 • 一次加工機能の拡大	輸出専用和牛ブランドの育成	経済成長が見込まれる東南アジア等に販売拡大
	㈱田原ファームのグループ化	三沢ビーフセンターの新設（計画）	「AKUNE GOLD」「AOMORI GOLD」の2大ブランド育成	ADiRECT SINGAPOREの子会社化

将来的な和牛輸出体制



和牛輸出の供給基盤強化を通じて海外事業の成長を加速

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

9. 資本政策（経緯と各種指標）

これまでの経緯

公表時期	施策
2024年11月	配当方針の明確化（DOEの目標設定）ならびに増配
2025年2月	株式売出し（約31億円、発行済株式総数の約6%）
	自己株式の取得（約15億円）、株式分割
	従業員持株会加入者への譲渡制限付株式付与制度導入（一律10万円相当）
	従業員持株会奨励金付与率を10%に引き上げ
2025年5月	**株主優待制度の拡充（マックカード追加、商品拡充）**
2025年11月	「中期経営計画2030」策定 自己株式の取得（約4億円）
2026年5月	中間配当制度の導入
	自己株式の取得（約15億円）
	株主記念優待（マックカード）の実施
2026年８月	四半期決算における決算補足資料の開示スタート
	配当予想の修正（増配）

株価推移



※株価は2025年4月1日付の株式分割（1株につき3株）を考慮して調整しています

各種指標

TOPIX構成銘柄に継続採用（2026年10月）

■ **株主数：** **3.07倍**
13,802名('24/9末) → 42,413名('26/9末)

■ **株価上昇率：** **1.53倍**
968円 ('24/9末終値) → 1,487円 ('26/9末終値)
※株価は2025年4月1日付の株式分割（1株につき3株）を考慮して調整しています

■ **PBR：** 0.71倍 ('24/9末) → **0.87倍** ('26/9末)

各種施策を推進。株主数が増加　株価・PBRも上昇

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

参考資料

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

中期経営計画2030　－概要－

中期経営計画2030のテーマ

「強みのさらなる進化とグローバル市場への挑戦」

I
市場シェア拡大へのアプローチ

①グローバルサプライチェーンの構築（海外市場）

②市場動向を捉えた販売体制最適化（国内市場）

II
事業基盤の強靭化

①グループ内物流の骨太な改革

②スターゼン版DXの進化

III
持続成長を支える
コーポレート機能強化

①経営戦略に連動した未来志向の人材戦略

②サステナブルな社会の実現への貢献

③グローバルな成長を支える財務戦略

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

中期経営計画2030　－経営目標－

成長投資を原動力に、成長性と資本収益性の向上を図る

KPI	中計2022（23/3期）	中計2025（26/3期）①	新中計2030（31/3期）②	増減（②－①）
売上高	4,251億円	4,482億円	**5,500億円**	＋1,017億円
経常利益（うち海外比率）	102億円	110億円（5%）	**160億円（15%）**	＋50億円（+10%）
EBITDA	110億円	130億円	**210億円**	+80億円
ROIC	6.4%	5.7%	**6.0%以上**	+0.3%以上
ROE	11.1%	9.0%	**10.0%以上**	+1.0%以上

投資計画：総計700億円

投資内訳

国内市場 …… 240億円
- 生産農場との連携強化
- 市場動向に合わせた販売体制・拠点整備
- 加工食品の生産体制増強

海外市場 …… 260億円
- 和牛輸出認定工場整備
- 海外食肉生産・加工機能整備
- 海外販売体制の増強

DX・業務効率化 …… 60億円
- 物流機能の拡充
- システム刷新と業務プロセス改革

維持・更新投資 …… 140億円
- 工場、営業拠点等の設備更新等

ROIC6.0%以上を目安とし、
資本効率を意識した投資を推進

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

会社概要①

■人材・技術（2026年3月末現在）

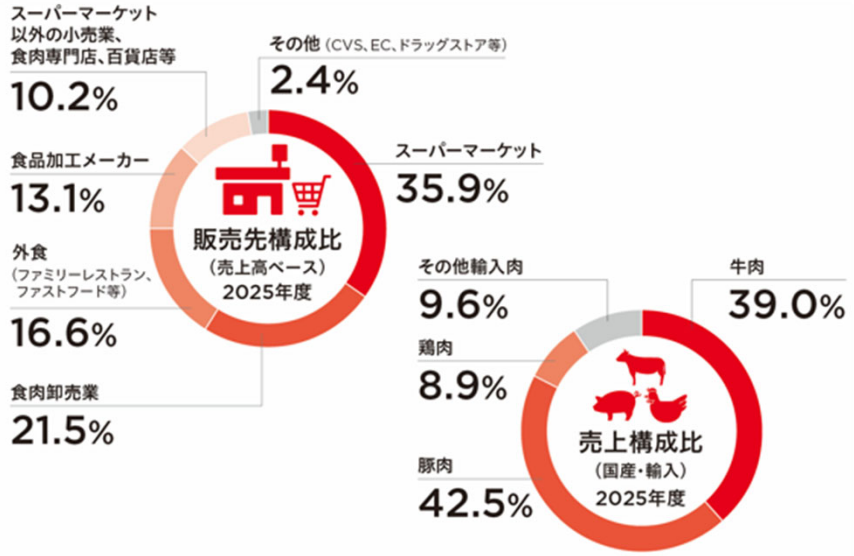
従業員数（連結）
2,807名

女性管理職比率
6.0%
※ スターゼン（株）籍正社員
（関係会社への出向者を含む）

牛・豚部分肉製造マイスター
98名

一人当たりの研修費
118,898円

■事業活動



■事業基盤（2026年6月末現在）

国内拠点
営業拠点
約50カ所
加工・製造拠点
24カ所

海外拠点
7カ所

輸出可能国数
52の国と地域

輸入国数
22カ国



■財務成果（2026年3月期）

売上高
4,482億円

EBITDA
130億円

ROE
9.0%

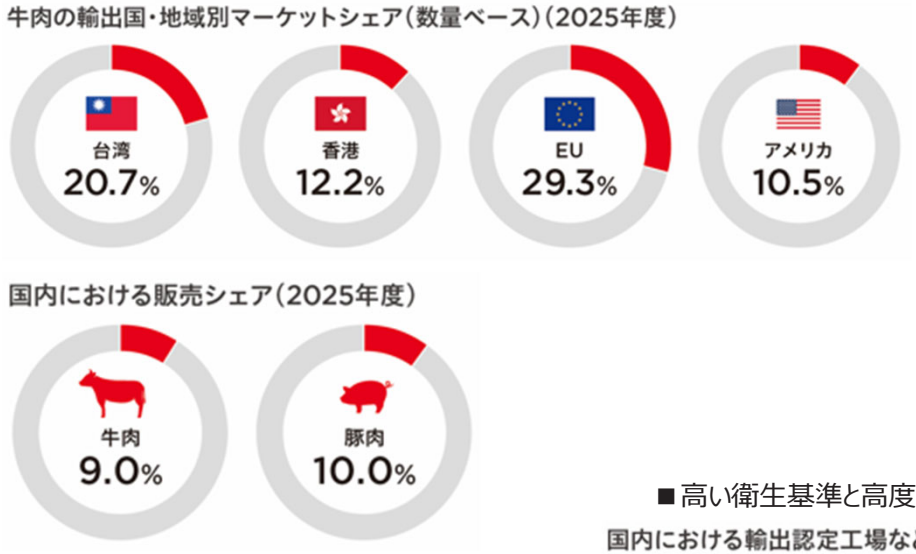
ROIC
5.7%

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

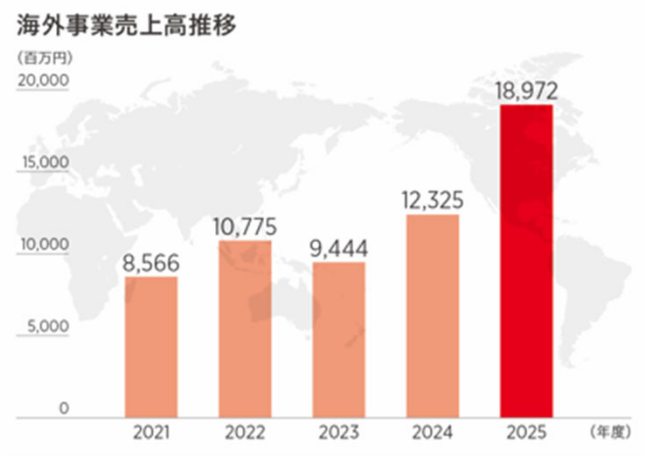
スターゼングループ

会社概要②

■国内外市場における当社のポジション



■グローバルネットワークを活かした海外事業の成長



■高い衛生基準と高度な食肉加工技術



© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.

スターゼングループ

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の作成時点において当社が入手可能な情報および合理的と判断した一定の前提に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があり、当社は本資料の内容を更新・修正する義務を負うものではありません。

【本資料に関するお問い合わせ先】

〒108-0075
東京都港区港南2-4-13 スターゼン品川ビル
スターゼン株式会社 広報・IR部
E-mail　　：kouhou.ir@starzen-group.com
IR情報サイト：https://www.starzen.co.jp/ir/

© 2026 Starzen Co., Ltd. All rights reserved.